

特別企画：第 10 回栃木県内企業のメインバンク実態調査

栃木銀行・足利小山信金・那須信組がシェアアップ

～足利銀行は前年比 0.4%のシェアダウン～

はじめに

金融機関の動向がドラスティックになりつつある。横浜銀行と千葉銀行の包括提携や、インターネット金融サービス大手の SBI ホールディングスが、島根銀行・福島銀行との資本提携を発表し、「第4のメガバンク構想」を掲げるなど、生き残りをかけた金融再編の動きは、益々激しくなっている。一方では、日銀総裁の更なる金融緩和の方向示唆もあって、「本業（貸出金利・手数料収入）」では収益を確保できなくなっている事も否定はできない。他方、企業にとっては、金融機関との関係を健全に保ち、常に必要な資金を調達できる環境を保つことは必須で、特にメインバンクとの関係性は非常に重要と云えるだろう。

そこで、帝国データバンク宇都宮支店は、2019 年 10 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業（約 147 万社）から、栃木県内の企業（2 万 2,096 社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、企業と金融機関の取引実態について調査集計した。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。栃木県内における同調査は前回 2018 年 12 月に続き 10 回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる場合がある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した

調査結果(要旨)

1. メインバンクのシェア、上位に変化はなく、足利銀行（47.0%）、栃木銀行（24.3%）、群馬銀行（4.0%）、足利小山信金（2.9%）、鹿沼相互信金（2.8%）の順であった。シェアアップを果たしたのは、栃木銀行、足利小山信金、那須信組の 3 行。シェアダウンとなったのは、足利銀行、栃木信金、東邦銀行の 3 行であった。
2. 業種別では、全ての業種にて 1 位・足利銀行、2 位・栃木銀行の状況に変化はない。ただし、「建設」「小売」「サービス」などで足利銀行がシェアダウンし、栃木銀行がシェアアップしている傾向が見て取れる。同様に売上規模別でも、過半数を超える「売上高 1 億円未満」の企業で、足利銀行のシェアダウンが目立った。

1. 足利銀行がトップ、栃木銀行、足利小山信金、那須信組がシェアアップ

栃木県内企業がメインバンクとして認識している上位20行は表1の通り。1位は足利銀行で10,392社、構成比47.0%（前回47.4%）となり、調査開始以来10年連続でトップとなった。2位は栃木銀行の5,376社、同24.3%（同24.1%）となり、前回同様に地元地銀2行で1、2位を独占、この2行の構成比の合計は71.3%と高い占有率を維持した。3位は県外から群馬銀行が884社（同4.0%）でランクインしたが、依然として地元地銀2行との差は大きい。

4位以下には信用金庫が続き、4位足利小山信金（630社・2.9%）、5位鹿沼相互信金（625社・2.8%）、6位栃木信金（605社・2.7%）となった。特筆すべきは、栃木銀行、足利小山信金、那須信組の3行が0.1%以上のシェアアップを果たした。一方で、足利銀行、栃木信金、東邦銀行の3行が0.1%以上のシェアダウンとなった。順位変化については、19位の三菱UFJ銀行が18位に、18位の商工中金が19位に、19位の東邦銀行が20位と入れ替わりが起きている。

ちなみに、「めぶきフィナンシャルグループ（足利銀行・常陽銀行）」というくくりで見ると、メインバンク取引企業数は10,759社、そのシェアは48.7%にものぼり、県内企業のほぼ半数を占め、県内経済に大きな影響力を持っている事があらためて確認できた。ただし、今回の調査で最も目に付いたのは、足利銀行のシェアダウンで、企業数では55社が減少しており思いの外大きかった。逆に栃木銀行は57社も増加しておりシェアアップが目立った。

表1(上位20行)

順位	金融機関名	本店所在地	2019年社数		シェア増減	2018年社数	
				シェア			シェア
1	足利	宇都宮市	10,392	47.0	▲ 0.4	10,447	47.4
2	栃木	宇都宮市	5,376	24.3	0.2	5,319	24.1
3	群馬	前橋市	884	4.0	0.0	882	4.0
4	足利小山信金	足利市	630	2.9	0.1	628	2.8
5	鹿沼相互信金	鹿沼市	625	2.8	0.0	616	2.8
6	栃木信金	栃木市	605	2.7	▲ 0.1	609	2.8
7	みずほ	東京都	447	2.0	0.0	450	2.0
8	烏山信金	那須烏山市	421	1.9	0.0	409	1.9
9	常陽	水戸市	367	1.7	0.0	373	1.7
10	大田原信金	大田原市	296	1.3	0.0	281	1.3
11	佐野信金	佐野市	241	1.1	0.0	233	1.1
12	那須信組	那須塩原市	234	1.1	0.1	229	1.0
13	筑波	茨城県	199	0.9	0.0	202	0.9
14	真岡信組	真岡市	152	0.7	0.0	146	0.7
15	三井住友	東京都	118	0.5	0.0	120	0.5
16	りそな	大阪府	106	0.5	0.0	109	0.5
17	東和	前橋市	92	0.4	0.0	94	0.4
18(19)	三菱UFJ	東京都	62	0.3	0.0	63	0.3
19(18)	商工中金	東京都	61	0.3	0.0	69	0.3
20(19)	東邦	福島市	55	0.2	▲ 0.1	63	0.3

2019年 栃木県合計社数22,096社

2018年 栃木県合計社数22,060社

※()内は前年順位

2. 業種別 ～すべての業種で足利銀行、栃木銀行 1、2 位は変わらず

主要業種別の上位 10 行は表 2 の通り。

業種別では、すべての業種において前回調査と同様に 1 位は足利銀行、2 位は栃木銀行であった。また 3 位については群馬県在地銀である群馬銀行が「建設」、「製造」、「卸売」、「運輸・通信」、「サービス」、「不動産」と 7 業種中 6 業種で 3 位を確保した。「小売」については栃木信金が 3 位にランクインした。4 位については、「建設」、「製造」、「運輸・通信」の 3 業種で鹿沼相互信金が、足利小山信金は「小売」、「サービス」、「不動産」の 3 業種を確保した。同じく「卸売」ではみずほ銀行が入った。総じて、足利銀行、栃木銀行の地元地銀 2 行の安定した強さが目立ち、群馬銀行も概ね 3 位の位置を固めつつあるが、特に 4 位以降についてはその他の金融機関が熾烈なシェア獲得合戦を繰り返しており、その差が僅少なケースが目立つ。例えば「建設」では 4 位鹿沼相互信金（204 社）、5 位栃木信金（195 社）、6 位足利小山信金（181 社）と、わずか 23 社の差で 3 行がひしめいている。同様に「小売」では 3 位栃木信金（106 社）、4 位足利小山信金（99 社）、5 位群馬銀行（96 社）とこれも 10 社の差。「サービス」では 3 位群馬銀行（136 社）、4 位足利小山信金（129 社）、5 位栃木信金（125 社）と 11 社の差であり、わずかなシェアアップ・ダウンで順位は入れ替わる状況だ。

その他の金融機関を見ると、めぶき F G の常陽銀行は、「建設」、「製造」、「卸売」、「不動産」の 4 業種で 8 位を維持している。また、メガバンクの状況だが、みずほ銀行が「卸売」で 4 位、「不動産」で 5 位と健闘している。当地への進出が早かったという背景もありメガバンクの中では占有率が高い事が分かる。三井住友銀行は「卸売」で 10 位にランクインしたが、栃木県内においてはみずほ銀行との格差は大きい。圧倒的に県内金融機関が優勢である事は変わっていない。

ここでも目に付いたのは、足利銀行のシェアダウン、栃木銀行のシェアアップである。「小売」では、足利銀行が▲0.5%に対し栃木銀行が+0.5%。「建設」、「サービス」の 2 業種では足利銀行▲0.5%に対し栃木銀行+0.3%、「不動産」にいたっては、足利銀行▲1.6%に対し栃木銀行+0.4%と、大きくその傾向があらわれた業種もあった。

表2(業種別上位10行)

建設

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	3,176	47.9%	▲ 0.5	3,242	48.4%
2	栃木	1,761	26.6%	0.3	1,761	26.3%
3	群馬	238	3.6%	0.0	243	3.6%
4	鹿沼相互信金	204	3.1%	0.1	204	3.0%
5	栃木信金	195	2.9%	0.0	192	2.9%
6	足利小山信金	181	2.7%	▲ 0.1	189	2.8%
7	烏山信金	165	2.5%	0.1	162	2.4%
8	常陽	109	1.6%	0.0	110	1.6%
9	大田原信金	90	1.4%	0.1	87	1.3%
10	那須信組	88	1.3%	0.1	82	1.2%
合 計		6,626			6,700	

製造

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	1,259	42.1%	▲ 0.1	1,255	42.2%
2	栃木	626	21.0%	0.2	617	20.8%
3	群馬	183	6.1%	0.0	182	6.1%
4	鹿沼相互信金	129	4.3%	0.0	128	4.3%
5	足利小山信金	122	4.1%	0.1	120	4.0%
6	みずほ	105	3.5%	0.1	102	3.4%
7	栃木信金	83	2.8%	▲ 0.2	89	3.0%
8	常陽	61	2.0%	▲ 0.1	61	2.1%
9(10)	烏山信金	47	1.6%	0.1	44	1.5%
10(9)	佐野信金	45	1.5%	▲ 0.1	47	1.6%
合 計		2,988			2,973	

卸売

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	962	46.5%	0.2	974	46.3%
2	栃木	505	24.4%	0.2	510	24.2%
3	群馬	119	5.8%	0.1	119	5.7%
4	みずほ	81	3.9%	▲ 0.2	86	4.1%
5	栃木信金	49	2.4%	0.0	51	2.4%
6	足利小山信金	43	2.1%	▲ 0.1	47	2.2%
6(7)	鹿沼相互信金	43	2.1%	0.1	43	2.0%
8	常陽	31	1.5%	▲ 0.2	35	1.7%
9	大田原信金	26	1.3%	0.1	26	1.2%
10	三井住友	25	1.2%	0.0	25	1.2%
合 計		2,067			2,105	

小売

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	1,365	44.1%	▲ 0.5	1,397	44.6%
2	栃木	808	26.1%	0.5	801	25.6%
3	栃木信金	106	3.4%	0.0	108	3.4%
4	足利小山信金	99	3.2%	▲ 0.1	103	3.3%
5	群馬	96	3.1%	▲ 0.1	100	3.2%
6	鹿沼相互信金	87	2.8%	0.2	82	2.6%
7	烏山信金	65	2.1%	0.0	67	2.1%
8	那須信組	62	2.0%	0.0	64	2.0%
9(10)	大田原信金	61	2.0%	0.1	60	1.9%
10(9)	みずほ	59	1.9%	0.0	61	1.9%
合 計		3,098			3,131	

運輸・通信

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	340	44.9%	1.0	329	43.9%
2	栃木	187	24.7%	▲ 0.1	186	24.8%
3	群馬	45	5.9%	▲ 0.6	49	6.5%
4	鹿沼相互信金	22	2.9%	▲ 0.3	24	3.2%
5	栃木信金	20	2.6%	0.1	19	2.5%
6	足利小山信金	18	2.4%	0.1	17	2.3%
7	烏山信金	17	2.2%	0.1	16	2.1%
8	佐野信金	16	2.1%	0.1	15	2.0%
9	常陽	12	1.6%	0.1	11	1.5%
10(12)	那須信組	10	1.3%	0.1	9	1.2%
合 計		757			750	

サービス

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	2,433	51.2%	▲ 0.5	2,413	51.7%
2	栃木	1,100	23.2%	0.3	1,067	22.9%
3	群馬	136	2.9%	0.2	126	2.7%
4(5)	足利小山信金	129	2.7%	0.2	118	2.5%
5(4)	栃木信金	125	2.6%	0.0	123	2.6%
6	鹿沼相互信金	99	2.1%	0.1	94	2.0%
7	みずほ	83	1.7%	0.0	78	1.7%
8	烏山信金	79	1.7%	0.1	76	1.6%
9(8)	常陽	74	1.6%	0.0	76	1.6%
10	大田原信金	57	1.2%	0.1	53	1.1%
合 計		4,750			4,667	

不動産

順位	金融機関名	2019年		シェア増減	2018年	
		社数	シェア		社数	シェア
1	足利	579	48.6%	▲ 1.6	585	50.2%
2	栃木	282	23.7%	0.4	272	23.3%
3	群馬	43	3.6%	0.3	39	3.3%
4	足利小山信金	32	2.7%	0.2	29	2.5%
5(4)	みずほ	31	2.6%	0.1	29	2.5%
6	鹿沼相互信金	24	2.0%	▲ 0.1	25	2.1%
7	烏山信金	23	1.9%	0.4	18	1.5%
8(7)	常陽	17	1.4%	▲ 0.1	18	1.5%
9(10)	大田原信金	16	1.3%	0.2	13	1.1%
9	栃木信金	16	1.3%	▲ 0.1	16	1.4%
合 計		1,192			1,165	

※()内は前年順位

3. 売上規模別 ～全ての規模で足利銀行が1位

融資先の売上規模別の上位10行は表3の通り。

前回の調査時同様に足利銀行がすべての売上規模区分で1位となった。中小零細から大企業まで、すべての規模で構成比は40%を上回る安定具合で、他の追随を許していない。2位については栃木銀行が「5,000万円未満」、「5,000万円以上1億円未満」、「1億円以上5億円未満」、「5億円以上10億円未満」、「10億円以上50億円未満」の5つのカテゴリでランクインし、「50億円以上」の売上規模ではみずほ銀行が入った。3位については、「5,000万円以上1億円未満」、「1億円以上5億円未満」、「5億円以上10億円未満」、「10億円以上50億円未満」の4カテゴリで群馬銀行が入った。「5,000万円未満」においての3位は足利小山信金、「50億円以上」の3位は栃木銀行という結果になった。なお、「年商50億円以上」では3メガバンクが上位5位以内にランクインしており、事業規模が大きくなるにつれ、メガバンクとの取引が活発化する傾向も見て取れる。

表3(売上規模別上位10行)

5,000万円未満

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	4075	46.7%	▲ 0.4	4,107	47.1%
2	栃木	2124	24.4%	0.1	2,123	24.3%
3	足利小山信金	298	3.4%	0.0	298	3.4%
4	鹿沼相互信金	279	3.2%	0.1	273	3.1%
5(4)	群馬	273	3.1%	0.0	273	3.1%
6	栃木信金	250	2.9%	▲ 0.1	262	3.0%
7	鳥山信金	201	2.3%	0.1	194	2.2%
8	みずほ	151	1.7%	0.0	145	1.7%
9	大田原信金	138	1.6%	0.1	131	1.5%
10	那須信組	116	1.3%	0.0	110	1.3%
合 計		8719			8,724	

5,000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	1848	45.0%	▲ 0.7	1,894	45.7%
2	栃木	1109	27.0%	0.4	1,102	26.6%
3	群馬	158	3.8%	0.0	159	3.8%
4(5)	栃木信金	132	3.2%	0.1	128	3.1%
5(4)	鹿沼相互信金	130	3.2%	0.1	130	3.1%
6	足利小山信金	112	2.7%	0.0	113	2.7%
7	鳥山信金	75	1.8%	▲ 0.1	77	1.9%
8	みずほ	72	1.8%	0.1	72	1.7%
9	常陽	63	1.5%	▲ 0.1	66	1.6%
10	大田原信金	56	1.4%	0.1	53	1.3%
合 計		4105			4,142	

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	3208	48.3%	▲ 0.2	3,237	48.5%
2	栃木	1642	24.7%	0.2	1,638	24.5%
3	群馬	287	4.3%	0.0	288	4.3%
4(5)	栃木信金	184	2.8%	0.2	176	2.6%
5(4)	足利小山信金	183	2.8%	0.1	182	2.7%
6	鹿沼相互信金	170	2.6%	0.0	173	2.6%
7(8)	常陽	123	1.9%	0.1	123	1.8%
8(7)	みずほ	113	1.7%	▲ 0.2	124	1.9%
9	鳥山信金	109	1.6%	0.0	107	1.6%
10	大田原信金	89	1.3%	0.1	83	1.2%
合 計		6645			6,679	

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	594	48.7%	0.3	575	48.4%
2	栃木	263	21.6%	0.0	257	21.6%
3	群馬	84	6.9%	0.3	78	6.6%
4	常陽	36	3.0%	▲ 0.5	41	3.5%
5	鹿沼相互信金	30	2.5%	0.2	27	2.3%
6(5)	みずほ	26	2.1%	▲ 0.2	27	2.3%
7	足利小山信金	23	1.9%	▲ 0.1	24	2.0%
8(9)	栃木信金	22	1.8%	0.3	18	1.5%
9(8)	鳥山信金	21	1.7%	▲ 0.1	21	1.8%
10	りそな	17	1.4%	0.2	14	1.2%
合 計		1219			1,188	

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	472	48.3%	▲ 0.7	478	49.0%
2	栃木	175	17.9%	0.5	170	17.4%
3	群馬	71	7.3%	▲ 0.2	73	7.5%
4	みずほ	52	5.3%	▲ 0.1	53	5.4%
5	常陽	34	3.5%	0.7	27	2.8%
6	三井住友	22	2.2%	▲ 0.2	23	2.4%
7(8)	商工中金	15	1.5%	▲ 0.1	16	1.6%
8(10)	鹿沼相互信金	13	1.3%	0.1	12	1.2%
8(7)	栃木信金	13	1.3%	▲ 0.4	17	1.7%
10	三菱UFJ	12	1.2%	0	12	1.2%
合 計		978			976	

50億円以上

順位	金融機関名	2019年 社数	シェア	シェア増減	2018年 社数	シェア
1	足利	124	43.7%	0.4	125	43.3%
2	みずほ	28	9.9%	0.2	28	9.7%
3	栃木	21	7.4%	1.2	18	6.2%
4	三菱UFJ	16	5.6%	0.1	16	5.5%
5	三井住友	12	4.2%	▲ 0.6	14	4.8%
6	農林中金	11	3.9%	0.1	11	3.8%
7	群馬	10	3.5%	0.0	10	3.5%
8	りそな	7	2.5%	▲ 0.6	9	3.1%
8(9)	商工中金	7	2.5%	0.1	7	2.4%
10	常陽	6	2.1%	0	6	2.1%
合 計		284			289	

※()内は前年順位

ここでも足利銀行のシェアダウンに触れなければならない。栃木県の中小企業の約6割が売上高1億円未満の零細企業であるが、この事業規模にあたる「5,000万円未満」では▲0.4%、「5,000万円以上1億円未満」では▲0.7%であり、企業数にすれば78社のメインバンクを他行に譲っているという結果である。確かに、「50億円以上」や、「5億円以上10億円未満」の 카테고리では、シェアアップも認められるが、総体ではシェアダウンを余儀なくされている。

金融機関の基本である本業（貸出金利・手数料収入）で利益を伸ばすためには、中小、零細企業の事業性評価をいかに判断し、融資に結びつけるか・・・ここに最大限の努力を傾けるべきなのは言うまでもない。一方、企業にすれば、資金需要に積極的に協力が得られるメインバンクの存在は事業存続には不可欠であり、支援体制に満足している企業はその金融機関からは離れないだろう。金融業界全体がたいへんな時代に入っていくにあたり、基本に立ち返って、地方銀行や信用金庫・信用組合が、地域社会や企業にとってメリットのある存在であり続けるためにはどうしたらよいのか・・・これも、重要な視点であろうと思う。

4. まとめ

メインバンク調査も今回で10回目を数える。引き続き栃木県内においては、足利銀行がトップ、2位に栃木銀行という順位に変化は見られない。ただし、今回の結果を見れば足利銀行のシェアダウンと栃木銀行のシェアアップが目立つ形となった。特に、企業の過半数を占める「売上高1億円未満」や、業種別の「建設」、「小売」、「サービス」などでは、その傾向が顕著に出た。この現象に対し短絡的な理由を掲げることは無意味だが、各金融機関のスタンスや方向性が影響しているとすれば、注目する必要があるだろう。

今後も、経済がシュリンクし、人口や企業数が減少していくことは避けられない事実のようで、銀行再編をはじめ金融業界を取り巻く環境は激変が予想される。それでも、メインバンクの様々な支援は、特に中小企業にとってなくてはならない存在であり、栃木県経済の安定のためにも、適正な資金供給が欠かせないファクターである事には変わりはない。企業にとっては、そこに支障が出ることは望ましくないであろう。今後も企業とメインバンクの関係性やその変化には注目していきたいと考えている。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク宇都宮支店 情報担当： 古川哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。